

自信と誇りをもって
気軽に対話

本物の
改革の党

日本共産党

デフレ
脱出

消費税増税ストップ

所得を増やし、内需・経済を元気に

日本共産党 ▶ 消費税増税中止法案を提出
▶ 大企業のため込み金を雇用と中小企業に

消費税増税はデフレを加速させ、日本経済の底が抜けます。使い道がなくて眠っている 260 兆円もの大企業の内部留保を安定雇用や中小企業に還元する政策を実行します。

原発
即時ゼロ

大飯も止めて、そのまますべて廃炉に

日本共産党 ▶ 70年代から危険性を指摘
▶ 自然エネルギーの大規模普及と
低エネルギー社会への移行

原子力委員会も福島級の大事故の可能性を指摘。原発を稼働すれば「核のゴミ」は増え続けます。猛暑の夏も原発なしで電気は足りていました。即時ゼロが最も現実的で責任があり、実現可能な方針です。

9条を
守る

海外で戦争する国づくりを許さない

日本共産党 ▶ 明文改憲も、解釈改憲も許さず
▶ 9条を守る多数派をつくるために全力

憲法改憲に堂々と立ち向かえる党。戦前、侵略戦争に命がけで反対。この間の改憲策動に対しても「九条の会」など草の根の運動と結んで立ちふさがってきました。共産党の躍進が改憲の野望を打ち砕く最も確かな力。

民主	4年間は上げないという公約を投げ捨てて増税強行
自民	消費税増税は「どの党が政権をとっても取り組まないといけない」(安倍総裁)と推進
公明	消費税増税の「最大の功労者」と評され、「公明新聞」で自認
維新	税率を11%に。地方財源化するため社会保障財源もなくなり、切り捨てばかりに
みんな	「増税の前にやるべきことがある」と社会保障を大幅改悪。やることをやったら増税。
未来	消費税増税は「凍結」。代わる財源は「無駄をなくす」だけ

維新

推進の党ハッキリ 2030年代に「脱原発」としていたが、「公約でない」(橋下徹代表代行)とし、再稼働は「当然」の立場。石原慎太郎代表は“核保有のためにも原発はやめられない”の立場。原発推進がハッキリ。

民主
自民

「30年代に稼働ゼロ」「再稼働は当然」(民主)。「原発ゼロは無責任」(安倍晋三総裁)。

未来

ゼロは10年後 ゼロは10年後。嘉田由紀子代表(滋賀県知事)は知事として大飯再稼働を容認。

維新

「核保有」発言 「集团的自衛権行使」とともに、「自主憲法を制定」。石原代表は「核保有」発言。橋下代表代行は「非核三原則見直し」を表明。

自民

国防軍を創設 海外で武力行使を可能にする「集团的自衛権行使」など解釈改憲。並行して憲法9条2項を改悪し、「国防軍創設」を明記。

民主

みんな そろって「集团的自衛権行使」

90年の歴史で試され **ブレずに筋通す**

戦前、命がけで侵略戦争に反対、主権在民を主張。戦後、憲法に実りました。旧ソ連、中国毛沢東派の覇権主義とたたかった自主独立の党。日本の未来を安心して託せる党です。

企業献金・政党助成金うけとらず

日本共産党は、企業団体献金も政党助成金も受け取らず、自前で財政をつくり、草の根から政治を動かす党です。



命をかけてたたかい抜いた日本共産党員作家・小林多喜二

瀬戸内寂聴さん(作家)

「今度の選挙はもうムチャクチャね。どこに入れていいかわからないと、みんなが色々言いますね。言うことすることづれる人はだめです」「やっぱり、ぶれていない政党に入れるべきです。その点では共産党は一貫してぶれないですね」(原水協活動交流ニュースより)

松原隆一郎東大教授(『週刊朝日』座談会)

「共産党の寸評は『党名変えなくてよかったですね』かな。我々はずっと党名を変えなさいと主張してきましたが、新党がポコポコ生まれて党名がコロコロ変わる現状を見ると、変えなくて正解でした。すみません」(『週刊朝日』12月14日号)

近畿・全国のお知りあいに **「比例は日本共産党」と呼びかけて下さい**

衆院比例近畿ブロック候補



党国会対策委員長
こくた 恵二



前衆院議員
宮本 たけし



党大阪府副委員長
清水 ただし



党兵庫副委員長
堀内 照文



前滋賀県議
ふしき みちよ



前奈良県議
中野 あけみ



党和歌山副委員長
原 やすひさ